



平成27年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年3月4日

上場取引所 東

上場会社名 巴工業株式会社

コード番号 6309 URL <http://www.tomo-e.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山本 仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 矢倉 敏明

TEL 03-5435-6512

四半期報告書提出予定日 平成27年3月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年10月期第1四半期の連結業績(平成26年11月1日～平成27年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年10月期第1四半期	9,572	5.1	287	140.6	481	69.2	383	45.5
26年10月期第1四半期	9,106	7.2	119	11.1	284	67.6	263	207.3

(注) 包括利益 27年10月期第1四半期 615百万円 (39.5%) 26年10月期第1四半期 441百万円 (27.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年10月期第1四半期	38.43	—
26年10月期第1四半期	26.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年10月期第1四半期	34,524	24,801	71.8
26年10月期	33,817	23,943	70.8

(参考) 自己資本 27年10月期第1四半期 24,801百万円 26年10月期 23,943百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年10月期	—	22.50	—	22.50	45.00
27年10月期	—	—	—	—	—
27年10月期(予想)	—	22.50	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年10月期の連結業績予想(平成26年11月1日～平成27年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,700	3.7	880	4.0	900	△12.2	670	△13.5	67.14
通期	42,700	4.9	1,830	43.7	1,850	13.5	1,150	4.3	115.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年10月期1Q	10,533,200 株	26年10月期	10,533,200 株
27年10月期1Q	554,667 株	26年10月期	554,667 株
27年10月期1Q	9,978,533 株	26年10月期1Q	9,978,608 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。尚、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報および合理的であると判断する前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

尚、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書.....	7
四半期連結包括利益計算書.....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	9
(継続企業の前提に関する注記).....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	9
(セグメント情報等).....	9
4. (補足情報) 海外売上高.....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、米国を中心とした海外経済の回復に伴う輸出の拡大、良好な企業収益に支えられた設備投資の増加基調、家計の所得・雇用環境改善を背景とした個人消費の持ち直しなどにより、緩やかな回復基調が持続しています。海外においては、米国経済の回復基調が続く一方、中国を始めとする新興国経済の成長に鈍化が見られることに加え、原油安による悪影響や欧州におけるギリシャ債務問題など景気が減速する懸念が拭えない状況にあります。

こうした情勢の下、機械製造販売事業におきましては、国内民需向け機械、部品・修理の販売が減少したものの、北米を中心に海外向け機械、部品・修理の販売が伸長したことに加え、国内官需向け装置・工事、部品・修理の販売が堅調に推移しました。化学工業製品販売事業におきましては、国内合成樹脂分野と同化成品分野の販売が勢いを欠きましたが、工業材料分野、電子材料分野の他、香港における汎用樹脂等の販売が堅調でした。利益面につきましては、化学工業製品販売事業では深圳コンパウンド事業の収益悪化を主因に減益となった一方で、機械製造販売事業では増収を主因に増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同期比5.1%増の9,572百万円、営業利益は前年同期比140.6%増の287百万円、経常利益は前年同期比69.2%増の481百万円、四半期純利益は前年同期比45.5%増の383百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(機械製造販売事業)

機械製造販売事業では、国内民需向け機械および部品・修理の販売が減少した一方、北米を中心とした海外向け機械および部品・修理の販売が伸長した他、国内官需向け装置・工事および部品・修理の販売が堅調だったことから、当四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比べ26.2%増加し1,948百万円となりました。

利益面につきましては、事業全体の売上が北米を中心とした海外向け機械および部品・修理販売の伸びを梃子に増加したことを受けて、営業損益は前年同期における137百万円の損失から56百万円の利益へと転じました。

(化学工業製品販売事業)

化学工業製品販売事業では、合成樹脂分野の高機能樹脂、化成品分野の塗料、接着剤向け商材や薬品関連の材料等に係る売上が減少した一方、工業材料分野の住宅・建設用途向け材料、電子材料分野の半導体製造用途向け搬送用トレイ、香港における汎用樹脂等の売上が堅調に推移したことから、当四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比べ0.8%増加し7,623百万円となりました。

利益面につきましては、合成樹脂分野と化成品分野の売上が減少したことによる影響や中国深圳コンパウンド事業の採算が販売量の減少に伴い悪化したことなどを背景に、営業利益は前年同期に比べて10.4%減少し230百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、賞与の支給、法人税の納付、配当金の支払いなどによって現金及び預金が1,261百万円減少した一方、棚卸資産が941百万円増加し、退職給付に係る資産が739百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ706百万円(2.1%)増加し34,524百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が619百万円増加した一方、未払法人税等が502百万円減少し、賞与引当金が392百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ151百万円(1.5%)減少し9,722百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が625百万円増加したことのほか、為替換算調整勘定が173百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ857百万円(3.6%)増加し24,801百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.0ポイント上昇して71.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月期の連結業績予想につきましては、平成26年12月11日に「平成26年10月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が725,010千円増加し、利益剰余金が466,457千円増加しております。尚、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,661,622	4,399,722
受取手形及び売掛金	14,321,437	14,568,456
商品及び製品	2,834,556	2,947,664
仕掛品	1,193,440	1,864,337
原材料及び貯蔵品	772,969	930,415
繰延税金資産	579,233	451,282
その他	225,244	275,926
貸倒引当金	△5,251	△3,914
流動資産合計	25,583,252	25,433,890
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,742,339	2,729,478
減価償却累計額	△1,533,884	△1,519,690
建物及び構築物(純額)	1,208,455	1,209,788
機械装置及び運搬具	4,045,863	3,990,984
減価償却累計額	△3,346,731	△3,296,381
機械装置及び運搬具(純額)	699,131	694,602
土地	930,711	931,769
建設仮勘定	2,581,210	2,618,948
その他	1,102,854	1,104,011
減価償却累計額	△977,538	△980,625
その他(純額)	125,316	123,385
有形固定資産合計	5,544,824	5,578,494
無形固定資産	451,969	442,084
投資その他の資産		
投資有価証券	1,255,543	1,348,098
差入保証金	243,293	244,640
退職給付に係る資産	596,943	1,336,491
繰延税金資産	36,616	36,487
その他	128,527	127,034
貸倒引当金	△22,995	△22,689
投資その他の資産合計	2,237,928	3,070,061
固定資産合計	8,234,723	9,090,640
資産合計	33,817,976	34,524,531

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,970,933	6,590,771
未払金	535,396	641,586
未払法人税等	543,046	40,879
前受金	431,020	194,779
賞与引当金	731,676	339,367
役員賞与引当金	36,900	14,575
製品補償損失引当金	223,618	221,425
その他	305,463	354,691
流動負債合計	8,778,056	8,398,076
固定負債		
役員退職慰労引当金	18,680	5,460
退職給付に係る負債	48,646	54,071
繰延税金負債	1,028,769	1,265,353
固定負債合計	1,096,096	1,324,884
負債合計	9,874,153	9,722,961
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,061,210	1,061,210
資本剰余金	1,483,410	1,483,410
利益剰余金	21,267,920	21,893,357
自己株式	△363,591	△363,591
株主資本合計	23,448,949	24,074,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	305,484	363,236
繰延ヘッジ損益	1,272	353
為替換算調整勘定	311,609	485,086
退職給付に係る調整累計額	△123,493	△121,492
その他の包括利益累計額合計	494,873	727,183
純資産合計	23,943,822	24,801,569
負債純資産合計	33,817,976	34,524,531

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年1月31日)
売上高	9,106,222	9,572,181
売上原価	7,400,845	7,633,464
売上総利益	1,705,376	1,938,716
販売費及び一般管理費	1,585,893	1,651,265
営業利益	119,483	287,451
営業外収益		
受取利息	4,779	5,036
受取配当金	107,879	9,540
受取賃貸料	2,410	1,758
為替差益	45,273	168,578
その他	12,373	12,974
営業外収益合計	172,716	197,888
営業外費用		
支払利息	3,170	427
支払手数料	756	756
売上割引	1,391	1,522
その他	2,110	701
営業外費用合計	7,428	3,407
経常利益	284,770	481,932
特別利益		
固定資産売却益	—	15,814
負ののれん発生益	58,962	—
特別利益合計	58,962	15,814
税金等調整前四半期純利益	343,732	497,746
法人税、住民税及び事業税	15,551	36,219
法人税等調整額	65,487	78,031
法人税等合計	81,038	114,251
少数株主損益調整前四半期純利益	262,694	383,495
少数株主損失(△)	△865	—
四半期純利益	263,560	383,495

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年11月1日 至 平成26年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年11月1日 至 平成27年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	262,694	383,495
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,537	57,752
繰延ヘッジ損益	△775	△919
為替換算調整勘定	148,834	173,476
退職給付に係る調整額	—	2,000
その他の包括利益合計	178,595	232,310
四半期包括利益	441,289	615,806
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	427,236	615,806
少数株主に係る四半期包括利益	14,052	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年11月1日至平成26年1月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	機械製造販売	化学工業製品販売	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,544,442	7,561,780	9,106,222	9,106,222
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,544,442	7,561,780	9,106,222	9,106,222
セグメント利益 又は損失(△)	△137,877	257,360	119,483	119,483

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当社が第1四半期連結会計期間に、当社連結子会社である星際化工有限公司の他社が所有する株式を取得したことに伴い、化学工業製品販売事業において、負ののれんが発生しました。尚、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては58,962千円であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年11月1日至平成27年1月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	機械製造販売	化学工業製品販売	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,948,883	7,623,297	9,572,181	9,572,181
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,948,883	7,623,297	9,572,181	9,572,181
セグメント利益	56,965	230,485	287,451	287,451

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算の営業利益と一致しております。

4. (補足情報) 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年11月1日 至 平成26年1月31日)

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	1,461,944	207,955	1,669,900
II 連結売上高(千円)	—	—	9,106,222
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	16.1	2.3	18.3

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域

(1) アジア・・・中国・韓国・台湾・インドネシア

(2) その他の地域・・・アメリカ・ヨーロッパ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年11月1日 至 平成27年1月31日)

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	1,183,785	881,320	2,065,105
II 連結売上高(千円)	—	—	9,572,181
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	12.4	9.2	21.6

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域

(1) アジア・・・中国・韓国・台湾・インドネシア

(2) その他の地域・・・アメリカ・ヨーロッパ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。